

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

* タワーのダブルモノクロメーターをPMCに搬入

国立天文台ニュース 2月号に塔望遠鏡探検の記事が出た。塔望遠鏡には保存すべき貴重なものがいくつもある。シーロスタットをはじめ、反射望遠鏡に交換する前の屈折望遠鏡時代のツアイスの対物レンズ、交換された日本光学の反射望遠鏡、ツアイス製の焦点部のスリット機構、乾板取枠、グレーティング、大きな掛け時計、ダブルモノクロメーターなどである。今回、このダブルモノクロメーターを野球仲間の篠田君の協力でPMCに運んだ。写真1がPMCの展示用の台に載せたダブルモノクロメーターである。写真2はその名盤である。この分光器がどのように使用されたかは知らない。重厚なものである。



写真1 塔望遠鏡室からPMCに運ばれたダブルモノクロメーター



写真2 ダブルモノクロメーターの名盤

モノクロメーターは必要な単色を得るための分光器であるが、より純粋な単色を得るためにモノクロメーターを2段に用いたものがダブルモノクロメーターで、このダブルモノクロメーターはプリズム分光器を2段に使ったものである。

写真3が左側のプリズム、写真4が右側のプリズムである。



写真3 左側プリズム



写真4 右側プリズム

写真5がプリズム部の拡大写真である。写真6が両方のプリズム部である。



写真5 プリズム部拡大写真



写真6 左右のプリズム部